

## 全国英語教育学会（JASELE）2009 年度第 1 回理事会記録

日時：2009（平成 21）年 3 月 28 日（土） 14:00～19:00

場所：関西大学千里山キャンパス・関西大学 100 周年記念館

出席者：瀬川俊一（会長），大里文人（副会長），松本達也（副会長），吉田信介（理事・関西），酒井志延（理事・関東），高梨芳郎（理事・九州），西田正（理事代理・中国），大下邦幸（理事・中部），佐々木正彦（理事・東北），竹村雅史（理事・北海道），本田勝久（幹事・関西），高山芳樹（幹事・関東），福田慎司（幹事・九州），寺嶋健史（幹事・四国），田頭憲二（幹事・中国），紺渡弘幸（幹事・中部），石崎貴士（幹事・東北），竹内典彦（幹事・北海道），多良静也（会計監査），田中忠祥（鳥取研究大会副実行委員長），飯島睦美（鳥取研究大会事務局長），吉田達弘（事務局長）

以下，オブザーバー参加者：岡良和（事務局・会計補佐），石川慎一郎（事務局・HP 補佐），山岡俊比古（次期紀要編集委員長），今井裕之（次期紀要編集事務局長），中田賀之（次期紀要編集事務局補佐），板垣信哉（前会長），久保田佳克（前事務局長），猪井新一（前紀要編集委員長），三浦省五（前副会長），野田哲雄（前副会長），玉井健（関西英語教育学会副会長）

### 議事：

審議に先立ち，瀬川俊一新会長からあいさつがあった。その後，資料 1 に基づいて，出席者各々から，自己紹介が行われた。

#### 1. 審議事項

##### 1) 2008（平成 20）年度暫定決算案

資料 4 に基づき，久保田前事務局長より決算案について説明がなされた。年度末を待って正式な決算案を作成し，会計監査を受けた後，8 月の総会で報告されることが確認された。

資料：全国英語教育学会 2008（平成 20）年度決算（案）

##### 2) 2009（平成 21）年度暫定予算案

資料 5 に基づき，久保田前事務局長より，予算案について説明がなされた。

繰越金が増加しつつある状況に鑑み，地区学会への補助，研究成果の出版計画，研究プロジェクトなどの可能性についての意見が出され，了承された。なお，予算の新たな支出項目については，新事務局が引き続き検討することとなった。

資料：全国英語教育学会 2009（平成 20）年度予算（案）

##### 3) 全国英語教育学会紀要 ARELE 第 20 号編集経過報告

資料 6，6-1，6-2，6-3 に基づき，猪井紀要編集委員長より編集経過報告がなされた。編集

活動経過，査読方針，査読結果，問題点および今後の課題等について詳細が説明され，了承された。今回の編集では，査読者の人数を増やし，一人当たりの査読本数を 2，3 本に抑えた。執筆要領等が守られていないことが今後の課題とされた。また，外国機関への送付先を増やすことが提案された。

資料：全国英語教育学会紀要 ARELE 第 20 号編集経過について，ARELE 第 20 号紀要編集委員会・査読委員名簿，ARELE 第 20 号投稿論文得点表，ARELE 第 20 号送付先（外国機関）（2009）

#### 4) 学会賞候補者推薦

回収資料に基づき、猪井紀要編集委員長より学術奨励賞候補者、教育奨励賞候補者について、その研究内容、選考結果等が説明され、異議なく承認された。

#### 5) 第35回全国英語教育学会鳥取研究大会

資料 7-1, 7-2 に基づき、飯島大会事務局長より大会への参加要領、研究発表申込等について説明がなされ、了承された。今大会では自由研究発表に司会者を設けないことが確認された。なお、修正がある場合には、4月3日(金)までに事務局長宛に届けることとなった。

資料：第35回全国英語教育学会鳥取研究大会案内(案)、第35回全国英語教育学会鳥取研究大会参加・宿泊・懇親会・弁当のご案内(案)

#### 6) 第36回大阪研究大会について

本田幹事(関西)より大会の概要について報告があった。平成22年8月7日(土)、8日(日)に関西大学での開催となる。大会実行委員長は吉田信介氏、事務局長は横川博一氏、後援は大阪府教育委員会等へ依頼することが提案され、異議なく承認された。

#### 7) 役員構成の改革についての提案

資料 8-1, 8-2, 8-3 に基づき、改正検討の小委員会を代表して板垣前会長より役員構成改革

の基本構想の詳細が提案された。理事会、理事の構成、理事会運営、事務局補佐体制、紀要編集事務局補佐体制についての改正提案が説明された。提案に基づき、改正の意義、各役職の役割や関係などについて議論され、以下の点について合意された。

- ・・理事を現状の8名(各地区学会から1名)から16名(同2名)とする。
- ・・理事会の議決権は理事及び会長、副会長が有する。
- ・・理事会は会長が招集する。
- ・・名誉会長職は廃止し、名誉顧問、顧問を設けることとする。

現在の理事会には、会長、副会長、各地区の理事の他にも諸役員が参加しており、理事会(あるいは役員会)の構成や議決権を有する者等について今後さらに検討することとなった。名誉顧問、顧問の職務、選出方法等詳細についてもさらに検討すること、また、会長の選出方法についても継続審議することが確認された。

小委員会に新会長、新事務局役員を加え、8月まで委員会での検討を継続し、次回理事会において会則改正として提案されることになった。

資料：全国英語教育学会役員構成改革の基本構想(案)、全国英語教育学会理事会申し合わせ事項(案)、全国英語教育学会会則(2008年4月1日施行)

## 2. 報告事項

### 1) 2009年度全国役員について

資料 2 に基づき、2009年度役員について事務局より報告が行われた。

資料 2：2009年度全国英語教育学会役員一覧

### 2) 地区学会情報

資料 3 に基づき、事務局より説明があり、記載内容の確認がおこなわれた。

資料：2009(平成21)年度全国英語教育学会地区学会情報

3) 第37回研究大会について

東北地区の担当で、山形研究大会が行われることが口頭で報告された。山形花笠祭りが8月5、6、7日に実施されるため、この期間の宿泊施設の確保が困難であることが予想される。このため8月20、21日に研究大会を開催することを検討中である。

4) 2008年度賛助会員について

資料9に基づき、前事務局長より現状の説明がなされた。賛助会員が少ないため、今後、賛助会員の募集の仕方について、郵送での募集に加え、より直接的な勧誘をしてはとの提案があった。

資料：2008（平成20）年度賛助会員

## 全国英語教育学会(JASELE)2009年度第2回理事会議事録

日時：2009年8月7日(金)16:00-18:15

場所：鳥取ワシントンプラザホテル・ダイヤモンドホール

出席者：

名誉会長・吉田一衛(九州)，会長・瀬川俊一(関西)，副会長[会長代行]・松浦伸和(中国)，副会長・大里文人(九州)，松本達也(四国)，理事・吉田信介(関西)，酒井志延(関東)，高梨芳郎(九州)，伊東治己(四国)，深澤清治(中国)，大下邦幸(中部)，佐々木正彦(東北)，竹村雅史(北海道)，事務局長・吉田達弘(関西)，事務局・岡良和(関西)，紀要編集委員長・山岡俊比古(関西)，紀要編集事務局長・今井裕之(関西)，紀要編集事務局補佐・中田賀之(関西)，幹事(地区学会事務局長)・本田勝久(関西)，高山芳樹(関東)，福田慎司(九州)，寺嶋健史(四国)，田頭憲二(中国)，紺渡弘幸(中部)，石崎貴士(東北)，竹内典彦(北海道)，会計監査・多良静也(四国)，鳥取研究大会実行委員長・足立和美(中国)，鳥取研究大会副実行委員長・田中忠祥(中国)，大阪研究大会実行委員会・横川博一(関西)，玉井健(関西)，小委員会・板垣信哉(前会長)，久保田佳克(前事務局長)，野田哲雄(前副会長)，三浦省五(前副会長)

### 1 審議事項(理事会資料を参照のこと)

#### (1) 総会に提起する議題について

総会で審議される議案①～⑦が，総会資料に基づき事務局より提案され，⑦会則改正を除き，承認された。⑦については，別立ての審議事項として審議した。

- ① 2009年度役員について(総会資料1)
- ② 2008(平成20)年度会務報告(総会資料2)
- ③ 2008(平成20)年度会計報告(総会資料3)
- ④ 2008(平成20)年度会計監査報告(総会資料3)
- ⑤ 2009(平成21)年度事業計画(総会資料4)
- ⑥ 2009(平成21)年度予算案(総会資料5)
- ⑦ 会則改正(総会資料6-1, 6-2)

なお，⑥については，総会資料5の予算の前年度繰越金に誤りがあったため，これを修正すること，また，紀要編集委員会より査読料を廃止する提案がなされ，予算案について，収入の部 査読料180,000円 支出の部 査読400,000円をそれぞれ削除し，予算案が修正され承認された。

#### (2) ARELE 21号について

紀要編集委員会資料に基づき説明がなされ，承認された。なお，席上，以下のような意見が出された。

- ・採否の議論が必要な論文については最終的に編集委員が検討すべきである。
- ・大会で発表されていない論文の投稿を認めないなどの手段を講じてはどうか。
- ・採択される論文で扱われている研究領域について偏りがあり，今後，広げる必要があるのではないか。

#### (3) 第35回鳥取研究大会について

足立和美実行委員長より，鳥取研究大会の準備が順調にすすんだことが説明された。500名程度の参加が見込まれ，210件の発表が行なわれる予定である。

(4) 第 36 回大阪研究大会について

第 36 回大阪研究大会実行委員会の横川博一氏より、資料 3, 4 に基づき大会開催案が説明され承認された。なお、以下のような質疑がなされ、大阪研究大会実行委員会からの回答があった。

- ・企業のプレゼンテーションが計画されていないが？→検討する。
- ・開催時期について、免許更新制度の時期との重複が懸念される。→大阪大会の開催時期は変更できないが、東北大会以降では考慮すべきではないか。
- ・研究発表申し込みの審査を行うということであるが、どのようにおこなうか。→応募要綱に記されている内容を満たしているかを簡便にチェックする。発表者に対する教育的目的をもって質的な向上を促したい。
- ・ランチョンセミナーの企画は？→経費負担も含めて主体を本部とするか関西とするかについて継続議論する。

なお、大阪研究大会で課題研究フォーラムを担当する地区学会について一部修正された。また、中国地区英語教育学会より、シンポジウムの開催案「日本の英語教育の将来-言語力育成における英語教育の役割とは」について説明がなされた。シンポジウムについては、理事会が担当することとなっているため、各理事より募集を継続し、今後さらに検討する。なお、今後、シンポジウム、ワークショップの研究企画を充実させるため、本部事務局に「研究企画」を担当する補佐を設けることが提案され承認された。

(5) 第 37 回山形研究大会について

資料 5 に基づいて説明され、8 月 20 日、21 日、山形大学で開催されることが承認された。

(6) 理事の途中交代について

資料 6 に基づいて説明され、承認された。

(7) 講師謝金、学会賞賞金について

資料 7 に基づいて説明され、承認された。

(8) 全国英語教育学会会則の改正について

小委員会座長の板垣信哉前会長および久保田佳克前事務局長より総会資料 6-1, 6-2, 資料 8 に基づいて説明がなされた。種々の意見交換がなされたが、時間内に十分な審議ができず、翌日の鳥取研究大会第一日目の昼食時に理事控室にて審議を継続することとされた。

また、「全国英語教育学会の会則・細則に係わる申し合わせ事項(案)」「名誉会長・特別顧問・顧問の構成と意見交換会(案)」について説明され、承認された。

(9) その他

2 報告事項

なし。

## 全国英語教育学会(JASELE) 2009 年度 臨時理事会議事録

日時：2009 年 8 月 8 日（土）11:50-12:35

場所：鳥取大学共通教育棟第 1 会議室（理事控室）

出席者：名誉会長・吉田一衛（九州），青木昭六（中部），松畑熙一（中部），会長・瀬川俊一（関西），副会長 [会長代行]・松浦伸和（中国），副会長・大里文人（九州），松本達也（四国），理事・吉田信介（関西），酒井志延（関東），高梨芳郎（九州），伊東治己（四国），深澤清治（中国），大下邦幸（中部），佐々木正彦（東北），竹村 雅史（北海道），事務局長・吉田達弘（関西），事務局・岡良和（関西），紀要編集委員長・山岡俊比古（関西），紀要編集事務局長・今井裕之（関西），幹事（地区学会事務局長）・本田勝久（関西），高山芳樹（関東），福田慎司（九州），寺嶋健史（四国），田頭憲二（中国），紺渡弘幸（中部），石崎貴士（東北），竹内典彦（北海道），会計監査・多良静也（四国），鳥取研究大会実行委員長・足立和美（中国），小委員会・板垣信哉（前会長），久保田佳克（前事務局長），野田哲雄（前副会長），三浦省五（前副会長）

### 1. 審議事項

#### (1) 全国英語教育学会会則の改正について

継続審議となった全国英語教育学会会則改正（案）について再度審議し，字句を修正した上でこれを承認し，全国英語教育学会会則（案），全国英語教育学会細則（案），会長選挙細則（案）については，総会に附議することとなった。